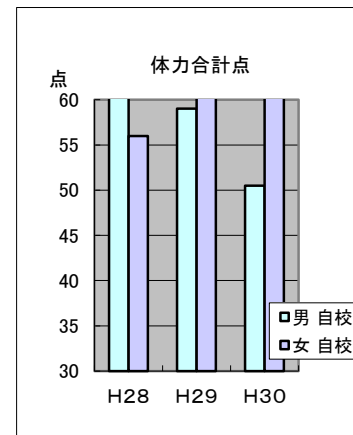
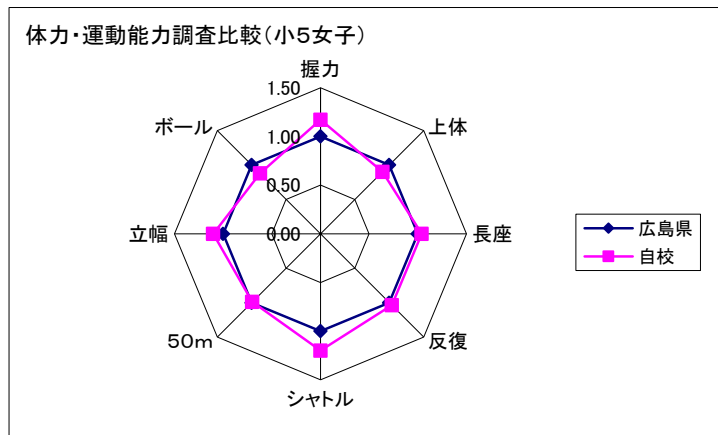
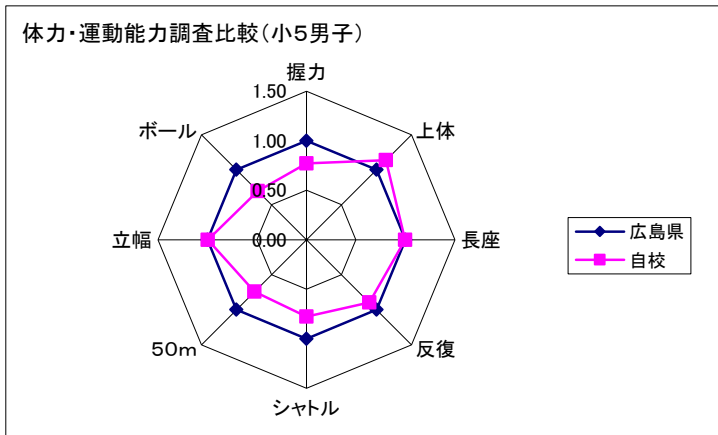


男子の体力合計点 学校 50.5 点 県平均 56.96

女子の体力合計点 学校 62.3 点 県平均 58.5



H30体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
3年女子は、広島県平均を0.84秒上回った。2～6年男子、4年、6年女子も広島県平均を上回った。一方、1年、5年男子と2年、5年女子は広島県平均を下回った。個人差が大きく、本校は小規模校のため、個人記録が学年記録に大きく影響している。

②握力(中学校区の課題種目)
2年、6年男子は広島県平均を2kg以上上回った。1年、4年、5年男子と2年、3年、6年女子は広島県平均を下回った。学年、男女による差が大きい。全体的に、鉄棒や雲梯などの握力を使う遊びをする児童が少ない。

③長座体前屈(自校の課題種目)
4年以外の学年の男子と、1年、3年、6年女子は、広島県平均を下回った。(0.2～3.48cm)
一方、4年男子と2年、4年、5年女子は広島県平均を上回っている。(0.01～2.44cm) 普段の体育の授業の様子を見ても、前屈がしっかりとできない児童が多い。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男女とも0.3秒)	具体的な取組内容 ・体育の授業の準備運動で行っているサーキットトレーニングを継続して、走る力をつける。 ・週に1回の全校体育の時間に、走る活動を多く取り入れる。 ・大休憩の3分間走を継続し、持久力を伸ばすとともに、最後の1周は全力で走る取組を引き続き行う。
②中学校区の課題種目 (握力) 具体的な数値目標 (男女とも0.5kg)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体づくり運動の中に、鉄棒や雲梯などを取り入れ、手で体を支える運動を取り入れる。 ・体育の授業前のサーキットトレーニングを今後も継続して行い、雲梯や登り棒に取り組む。
③自校の課題種目 (長座体前屈) 具体的な数値目標 (男女とも1cm)	具体的な取組内容 ・体育の整理運動や全校体育の時間に、継続してストレッチ運動や筋力トレーニングを行う。 ・前屈キープ30秒の運動を体育の授業の準備運動に取り入れる。